



■今月の展示コーナー

出会いと別れ（エントランス展示）・・・・・・・・・・ P.2

くらしの法律（階段下の展示）・・・・・・・・・・ P.3

あの日を忘れない（階段下の展示）・・・・・・・・・・ P.4

ミニギャラリー 「書道教室作品展」（2階ホールわき） P.4

■新聞書評に載った本・新刊案内・・・・・・・・・・ P.5

■図書館からのお知らせ・・・・・・・・・・ P.6・P.7

■高井戸図書館カレンダー・・・・・・・・・・ P.8

出会いと別れ

卒業、入園、入学、就職……。人生の節目や大きな変化を経験することの多い春。さらに今年は、「平成」を見送り、新しい元号を迎えます。高井戸図書館も20周年を終え、気持ちも新たに21年目がスタートします。今回は、古今東西の別れの心理を扱った本や号泣必至の小説など、「出会いと別れ」の本を集めました。

『わが友の旅立ちの日に』 安野 光雅／著 山川出版社



安野光雅さんが、誕生したお孫さんにあてて書いたエッセイを加筆、再編集、改題したものです。大きな未来が待ち受けている若い人に向けて書かれた文章ですが、大人の私が読んでも「本を読んで広い視野をもちなさい」と言われている気がします。挿絵も美しく、寝る前に少しずつ大切に読みたい本です。

『日本人の別れ』 松永 伍一／著 講談社



「平家物語」のなかで都落ちに際して別れを告げに行く平家の美意識、「鶴の恩返し」のなかの「つう」と「与ひょう」の別れなど、古来日本人はどのような別れのスタイルを描いてきたのかを論じた興味深い一冊です。別れに対する日本人独特の感性とは、一体どのようなものなのでしょうか？

『妻を失う』 -離別作品集-

講談社文芸文庫／編 富岡 幸一郎／選 講談社(文庫)



妻に先立たれたとき、夫はその悲しみをどのような言葉で描くのか。本書は、高村光太郎・有島武郎・葉山嘉樹・横光利一・三浦哲郎・江藤淳など、9人の作家による「妻との別れ」の作品集です。そこに共通するのは愛する者を失った喪失感と^{どうこく}慟哭。それを文学として味わうと、一層読者の胸に沁み込んでいきます。



くらしの法律

家族の死、遺産相続、身近に潜んでいる悪徳商法など、普段の暮らしの中で不意に訪れる様々な問題。今回は、そんな時に役立つ法律やトラブル対処法の本を紹介します。事前に知っておいた方が良いこともあるかもしれません。

『家族が亡くなる前にやっておくべきこと』

-モメない後悔しない損をしない-

明石 久美／著 PHP エディターズ・グループ



いつかは遭遇する身内の不幸。そんな時どうすればいいのか？葬儀・お墓・相続・遺言、その中でも相続や遺言は後々大きなトラブルとなることが少なくありません。知識があるとないとではかなり違うのではないのでしょうか？

『すぐに役立つ図解と Q&A でスッキリ!悪質商法の手口と実践的解決法ケース別 84』

大門 則亮／監修 三修社



契約や商品購入の際「不当な取引をさせられた」「詐欺にあった」などの身近にあるトラブルを事例ごとにとりあげ、解決法をわかりやすく解説しています。



階段下の展示

あの日を忘れない

東日本大震災から 8 年

2011年3月11日、あのかつてない地震に見舞われてもう8年目になるうとしています。しかし、年月を経ても過去のものではありません。いつ起こるとも知れない災害は地球規模で起こっています。



『波のはなし』 —科学の眼で見る日常の疑問—
 稲場 秀明／著 技報堂出版
 あらゆる波の科学的メカニズムが紹介されています。
 東日本大震災の津波はどのように起こったのでしょうか？

ミニギャラリー
 (2階のホールわき)

『書道教室作品展』

出展 三宅 美奈子

高井戸図書館ミニギャラリーは地域住民の趣味、特技、生涯学習で学んだ事柄の発表の場です。人の輪を広げ、図書館が交流スペースになることを目的としています。随時募集をしているので、お気軽にスタッフまでお声がけください。

新聞書評に載った本



貸出中の場合は、予約をすることができます。
 カウンターへお気軽にお申し付けください。



『芸の心』 —能狂言終わりなき道—

野村 四郎／著 山本 東次郎／著 笠井 賢一／編 藤原書店

■観世流シテをつとめ2016年に人間国宝に認定された野村四郎さんと大蔵流狂言で2012年に人間国宝に認定された山本東次郎さん。文化を担う大御所二人があくなき探求心で芸を語り合います。山本東次郎さんは杉並能楽堂理事長も務めていらっしゃいます。

新刊案内

ほぼ毎週、火曜日と金曜日に新刊が入ってきます。
 こちらも貸出中の場合は、ご予約ください。



『コケを楽しむ庭づくり』

—豊富な植栽例と植えつけの実際、美しく保つコツ—

大野 好弘／著 講談社

■日本にコケは2千種あるといわれています。庭植えするのに適したコケ30種類の特徴と扱い方がわかります。コケ庭の実例以外にも日本、イギリスのコケの名所も写真と共に紹介されており、コケの美しさに魅了されます。



『日本神話の「謎」を歩く』 —幾千年の時空の彼方へ—

藤井 勝彦／文・写真 天夢人

■「古事記」や「日本書紀」に記されている地名の伝承地へ旅に出ます。謎の多い古代史のテーマごとに、巡りやすい36のルートを紹介しています。著者の撮り下ろしの写真と詳細地図も楽しめます。

図書館からのお知らせ

- イベントのお申し込みは、お電話かカウンターで受付けています。
- 明記していない場合、会場は2階のホール。開場は開始時間の30分前です。
- 詳しくは、館内ポスター・図書館ホームページで確認できます。

子育て講座 「0歳からの親子の会話が賢い子をつくる！」

日 時 3月8日(金) 午前10時30分～11時30分
講 師 天野 ひかりさん 対 象 0歳から3歳くらいまでの子と保護者
定 員 30組(申込順)
申込み 2月15日(金) からカウンターまたはお電話で受付。

高井戸寄席

日 時 3月9日(土) 午後2時～4時
出 演 社会人噺家集団「文七迷人会」 対 象 どなたでも
定 員 45名(申込順)
申込み 3月1日(金) からカウンターまたはお電話で受付。

春だ！おいでよ！お話会だ！

日 時 3月17日(日) 午後2時～2時30分
出 演 mino とコトリとよしのちゃん 対 象 どなたでも
定 員 30名(先着順)
申込み 不要。当日、会場へお越しください。

多言語で楽しむおはなし会

日 時 3月23日(土) 午後2時～2時45分
出 演 ヒッポファミリークラブ・高井戸図書館
対 象 0歳から幼児までと保護者
定 員 30組(申込順)
申込み 3月1日(金) からカウンターまたはお電話で受付。

「語り継ぐ高井戸の記憶と歴史」

日 時 3月24日(日) 午後2時～3時30分
講 師 茶園紘己さん(郷土博物館学芸員) 対 象 どなたでも 定 員 40名
申込み 3月15日(金) からカウンターまたはお電話で受付。(申込順)

3月 DVD 上映会

未来へ伝えるメッセージ

能役者 野村 四郎「遥かなり芸の道」

日 時 3月16日(土) 午後2時～(午後1時30分開場)

短編 (15分) 遥かなり芸の道
長編 (44分) 語る



場 所 高井戸図書館 2階ホール
定 員 40名(先着順) どなたでも
申込み 当日、直接会場へお越しください

野村 四郎

1936年、和泉流狂言方六世野村万蔵家の四男に生まれ、幼少期は父に師事。能の魅力に目覚め15歳で二十五世観世元正に内弟子入門。19歳で初シテ(主役)を演じ、26歳で独立。平成28年、重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定。
日本能楽会会長。



高井戸図書館映画会

春のちびっこシアター 「16mmフィルム上映」

プログラム ★エリックカール・コレクション1
「はらぺこあおむし」ほか全3話(22分)
★オバケちゃん ※松谷みよ子原作(25分)



日 時 3月21日(木・祝) 午後2時～3時
対 象 幼児～小学生とその保護者 定 員 45名(先着順)
申込み 申込み不要です。当日、直接会場へお越しください

高井戸図書館カレンダー

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 ♠
3	4	5	6 ♥♠	7	8 ★	9 ★
10	11	12	13 ♥♠	14	15	16 ♠★
17 ★	18	19	20 ♥♠	21 ★	22	23 ★
24 ★	25	26	27 ♥♠	28	29	30
31	4日、22日は休館です。					

■ 閉館時間

月曜～土曜 午前9時～午後8時
日曜・祝日 午前9時～午後5時

■ 休館日

第1月曜と第3木曜
※祝日と重なった時は翌日が休館

■ 催し物

♠ おはなし会 午後3時30分～午後4時

♥ あかちゃんおはなし会
午前11時～午前11時30分

★ イベント (詳細は中をご覧ください)

■ 2階ホールの使用状況

閉室

【随時閲覧席】

(どなたでもご利用できます)

午前9時～午後5時

午前9時～午後8時

午後1時～午後5時

午後1時～午後8時

【YA広場】(中学生専用の部屋です)

放課後～午後7時

たかいど ものがたり

2019年3月 第248号
発行 杉並区立高井戸図書館
〒168-0072 杉並区高井戸東 1-28-1
電話番号 03-3290-3456

ホームページ パソコン版

<http://www.library.city.suginami.tokyo.jp/>

携帯版

<http://www.library.city.suginami.tokyo.jp/m/>